

## 函館市教育振興審議会令和元年度第1回点検評価部会 会議録

日 時	令和元年6月21日（金） 19:25～20:00
場 所	函館市役所 8階大会議室
出 席 （委員）	大西委員，松浦委員，佐竹委員，田尻委員，千山委員，井上委員， 木下委員，八田委員，太田委員（9名）
（事務局）	大室教育政策課長，兵吾主査，木村主事（3名）

### 1 開会

（部会長）

ただいまから，函館市教育振興審議会令和元年度第1回点検評価部会を開催する。

### 2 議事

#### ・諮問事項に対する審議について

（部会長）

事務局から，先程受けた諮問の内容について説明願う。

（事務局）

教育委員会の事務の点検および評価の概要について，また本報告書の構成などについて説明する。

報告書の1ページ，2ページをご覧いただきたい。教育委員会の事務の点検および評価は，1ページにあるように法律に基づき実施されるものである。教育委員会は毎年，所管する事務事業について点検および評価を行い，報告書を作成することとなっている。また，その際には，学識経験者の知見を活用することとなっており，本市においては，昨年度から，教育振興審議会からいただいたご意見を，本報告書に掲載し，今後の教育施策に反映することとしている。また，完成した報告書は，市議会に提出するとともにホームページへの掲載により公表している。

次に，本報告書案の構成についてである。目次をご覧いただきたい。報告書案については，大きく2つの項目からなっている。

1つ目が4ページから教育委員会の活動状況に関する点検・評価である。平成30年度における教育委員会会議の開催状況や教育委員の活動状況などをとりまとめたものとなっており，教育委員会の活動状況について明らかにし，今後の取組の方向を示している。なお，活動状況の詳細については，172ページ以降に掲載している。

2つ目は，8ページ以降の教育委員会の施策に関する点検・評価である。平成30年度に教育委員会が行った生涯学習から学校教育までの主な取組を，教育振興基本計画の施策体系に沿って事業ごとに点検・評価シートを作成している。8ページをご覧いただきたい。本シートは，昨年度に本審議会からいただいたご意見をもとに，新たに作成したものであり，具体的な取組結果や，評価の内容が分かりやす

く、見やすいこと、いわゆるPDCAサイクルが認識できることを基本とし、1枚の評価シートで、1つの事業を評価している。評価は「◎、○、△」の3段階によって行われており、9ページから13ページには、事業ごとの評価を基本計画の体系に沿って一覧にまとめ、掲載している。事業ごとの点検・評価シートは、15ページ以降に掲載されている。本審議会からいただく答申については、170ページ以降に掲載する予定である。

本部会の委員の皆様には、この報告書案をご覧ください、その内容について、忌憚のないご意見を賜りたい。最終的に報告書へ掲載する答申のイメージとしては、資料1のとおり、昨年度同様、皆様からいただいたご意見を、項目ごとにとりまとめ、掲載する予定である。

#### ・今年度の開催予定について

(部会長)

今後の点検評価部会の予定について説明願う。

(事務局)

点検評価部会は、今回を含めて3回の開催を予定している。それぞれの開催内容については、1回目の今回は、点検評価の方法についての説明となる。2回目では、本日資料として配付している報告書案の内容について、委員の皆様からさまざまな意見をいただきたいと考えている。3回目は、2回目の審議結果をとりまとめた答申案について書面にて審議いただく予定である。なお、2回目の点検評価部会においては、皆様からご意見をいただくことになるが、その会議内だけで、全ての項目を網羅することはなかなか難しいと考えており、一定の期間で、報告書案を読み進めていただき、その内容に対する意見や、疑問・確認したい点などについて、別紙の「点検評価に対する意見等について」もしくは任意の様式でも構わないので、ご記入いただき、教育委員会へ送付いただきたい。2回目の点検評価部会では、委員の皆様から出された意見や疑問点等についてのとりまとめ結果を委員の皆様で共有しながら、決められた時間内での審議を進めていきたいと考えているので、意見等の事前提出について、ご協力をよろしくお願いしたい。

資料2は、昨年(point検評価部会)の委員の皆様から事前にいただいたご意見をとりまとめたものであり、このように率直なご意見をいただきたいと考えている。2回目の会議では、今回も同様に資料2のように、意見をとりまとめた資料をもとに意見交換を行う予定である。

(部会長)

諮問事項の内容と今後の点検評価部会の予定について、事務局から説明があったが、質問はあるか。

(A委員)

2週間でこの報告書案を全て読み、意見を出すのは大変だと思う。例えば、皆さんの得意分野、専門分野を重点的に見てもらい、意見を出していただく。余力があれば全体を見ることにするなど、専門性が高まるような役割分担をして意見を出した方が、効率がいいのではないかと考える。

(部会長)

皆さんどうだろうか。それぞれ分担して進めるということによろしいか。

(委員)

－異議なし－

(部会長)

ではそのように進めたい。次にどのように役割分担していくか、事務局案はあるだろうか。

(事務局)

基本目標 1～3 が学校教育分野となっている。点検評価部会の委員構成の約半数である学校関係者の方々、B委員、C委員、D委員に部会長も入ってその範囲を見ていただくのはいかがか。

(A委員)

全部の項目にコメントを入れなければならないというわけではないというところによいだろうか。

(事務局)

基本目標によって大きく6つに分かれているので、その基本目標ごとに広く見ていただいて、気付いた点などいただければと思う。

(A委員)

大まかにいうと、基本目標に対して施策1, 2と分かれて、さらに細かい細目もあるが、その基本目標全体に対してこのように思うと、そしてそこから枝分かれして、ここはこう思うなど、かいつまんで意見を出すということによいか。

(事務局)

大きな枠組みの中で気になった項目だけでも構わないので、一通り見ていただいて琴線に触れたところについて、ご意見をいただければと思う。

(部会長)

では、お三方と私も入って4名で学校教育分野を見ましょうということによろしいか。

(E委員)

今小学校で勤務しているので、私も学校教育分野を担当して構わないだろうか。

(F委員)

私も保育園で勤務しているので、その分野を重点的に見たい。

(部会長)

了解した。そうすると生涯学習分野を担当する人が少なるかと思うがいかがか。

(事務局)

基本目標 4～6 が生涯学習分野となるが、その範囲をG委員、H委員、本日欠席のI委員、そしてA委員で見ていただくことはいかがか。

(部会長)

私は全部見ることにしようと思う。A委員いかがか。

(A委員)

親としては全部興味ある。私も全部見ることにしようと思う。

(部会長)

本当に大まかであるが、そのように分担し進めていきたい。内容については、読んでみなければわからないが、目標に対して実際に行われたことがどうだったのか、成果や課題、評価がさまざま書かれているが、具体的にわかるものとわからないものがあると思う。わからないところは飛ばして構わない。

また、今、担当分野を割り振ったが、ほかの分野にも特に関わっているなどあると思う。限定しないで見ていただければと思う。お子さんがいれば、学校が終わったあとのことだとかそういったところも見えてくると思う。また、近所に何かあれば見えてくるものもあると思う。そのような形で意見を書いていただければと思う。私とA委員は全部見ることにする。去年の経験を活かしながらやっていきたいと思う。

委員の皆様のご協力をよろしくお願いしたい。

その他委員の皆様から何かあるだろうか。

(D委員)

第2回の点検評価部会はいつ頃開催予定だろうか。また、今回の意見をメールで提出することが第2回の部会となるのか。

(事務局)

今回意見を頂戴し、事務局で資料2の形にまとめ、それを要約し答申案の骨子となるものを作成し、それをベースに細かい意見と突き合わせながら調整するのが2回目の会議となる。2回目は7月の下旬に集まって会議を開く形になり、3回目は8月に書面で答申案の議決をいただくという流れである。

(A委員)

意見の提出期日は動かないということか。

(事務局)

まずはそこを目指して意見を頂戴できたらと思う。

(部会長)

各委員から意見が出た後は、事務局がとりまとめなど大変でしょうけれどもよろしくお願いしたい。

事前に意見を出していただいて、事務局の方でそれを見ながら集約して、第2回目の会議を開いていくということである。委員の皆様には、時間を取りながら意見を出していただければと思う。

### 3 閉会

(部会長)

これをもって第1回の点検評価部会を終了する。